

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	大垣女子短期大学		設置者名	学校法人 大垣女子短期大学				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成25年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	幼児教育科	50人	幼二種免	昭和44年度	31人	30人	30人	9人
	入学定員合計	50人		合計	31人	30人	30人	9人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「学部・学科等の名称等」欄は、平成26年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。 							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成26年7月9日（水）

実地視察大学：大垣女子短期大学

実地視察委員：宮崎英憲委員、和泉研二委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については、おおむね基準を満たしているが、「2.」で指摘するように、教育実習の事前事後指導について法令違反の状態が見受けられたため、速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構成を具現化するための組織として掲げられている「教務委員会」は教職課程に限定した委員会組織ではないため、教職課程に関する全学的な組織の整備に努めていただきたい。その上で、既存の「実習指導センター」をさらに充実させ、教職課程や教員組織の質の向上に努めていただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 教育実習事前事後指導の科目として定めている「教職演習」について、事前指導の内容しか行っておらず、事後指導の内容は教職課程に定められた科目ではない「幼児教育特講」にて行っている。速やかに是正すること。
※ 教育職員免許法施行規則第6条備考第8号
教育実習の単位数には、教育実習に係る事前及び事後の指導（中略）の一単位を含むものとする。（後略）
- 教職課程の履修モデルとして、カリキュラムマップやカリキュラムツリーを整備し、学生指導しているところは評価できるが、履修モデルを作成する上で、「教職論」を1年次から履修できるようにするなど、各科目の開設時期を再考すること。
- 「教職に関する科目」について、教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「各科目に含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない授業科目や、科目の趣旨に照らして適切でないと見受けられる授業科目があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに、科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように内容を再度検討すること。なお、シラバスの記載内容及び記載方針を定め、法令に定める「各科目に含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認出来るようにすること。
- 学習指導要領を参考書又はテキストとして定めていない授業科目が散見された。教職課程に必要な授業内容を網羅しつつ、学生にわかりやすいシラバスを作成す

るよう努めること。

3. 教育実習の取組状況

- 全般的に学生の母園において実習が行われている状況が確認された。教育実習は、大学による教育実習の指導体制や、評価の客観性の観点から、学生の母園における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の幼稚園において実習園を確保することが望ましい。一定の地域において協力園を設けて、継続的に実習や教育見学を実施するなど、地域との協力関係を築き、実績を積み重ねていくよう努力されたい。
- 評価表について、「幼稚園実習Ⅰ」「幼稚園実習Ⅱ」のものが同内容であったため、内容について見直すこと。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教職指導は、履修指導のみならず、学生が教職について理解を深め、教職への適正について考察するとともに、各科目の履修等を通して、主体的に教員として必要な資質能力を統合・形成していくことができるように、大学が計画的・組織的に指導することが必要である。従来 of 指導に加え、今後、「実習指導センター」を全学的な組織として整備し、指導体制をより強固なものへと確立していただきたい。
- 就職指導においては、教員個人の努力に委ねられているように見受けられた。今後、学生に対して、大学全体として計画的・組織的に指導する体制の整備に努めること。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 子育てサロンの独自の取り組み、ボランティア、現場体験など大垣市教育委員会や近隣市町村などと積極的に連携している点は高く評価できる。
- 「子育て支援演習」「保育実務研修」など授業においても近隣市町村と連携し、積極的に現場を体験できる取り組みを進めている点も大変素晴らしい状況である。
- 今後、より包括的に地域の教育委員会と連携し、継続的な現場との関係を構築できるよう努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 図書館については、設備・蔵書ともに、全般的に充実しており、環境は良く整備されているように見受けられた。一方で、図書館の利用者数の少なさが見受けられたため、授業における図書館の活用など、学生が図書を利用する仕組みを構築すること。

7. その他特記事項

特になし。